

平成29年度(2017年度)

管理事業名	市民プール事業				総合計画の体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり スポーツに親しめるまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 36	市民プール費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室						
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
市民プール管理事業									
事業の目的と概要	指定管理者制度において、2か所(片山、北千里)の市民プールの管理・運営を行うとともに、安全な施設の整備に努め、健全なスポーツ活動の場を提供します。								

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数、目標利用者数 304,684人	人	289,110	283,200	265,763	片山・北千里市民プールの総利用者数
市民プール使用料収入額	千円	53,076	50,681	46,385	片山・北千里市民プールの使用料収入決算額
成果の説明	平成28年(2016年度)から個人使用トレーニング室のみの利用ができるようになりました。 平成29年度(2017年度)の利用者数は、平成28年度(2016年度)比17,437人(6.2%)、平成27年度(2015年度)比23,347人(8.1%)減少しました。 また、使用料収入は、平成28年度比4,296千円(8.5%)減少し、平成27年度比6,691千円(12.6%)減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	53,076	50,684	46,385	△4,299
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,758	2,245	2,245	-
経常収入 小計(a)	55,834	52,929	48,630	△4,299
給与関係費	3,812	3,612	2,771	△841
物件費	201,603	273,848	209,312	△64,536
維持補修費	28,538	10,351	57,399	47,048
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	29,350	29,350	29,566	216
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	365	494	188	△306
退職手当引当金繰入額	679	385	△870	△1,255
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	0	0
経常費用 小計(b)	264,345	318,040	298,367	△19,674
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△208,511	△265,111	△249,737	15,374
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	3,887	3,887
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	3,887	3,887
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△3,887	△3,887
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△208,511	△265,111	△253,624	11,487
一般財源充当額	178,807	235,596	286,926	51,329
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△29,704	△29,515	33,302	62,816

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
使用料及び手数料	使用料収入額 46,385千円
物件費	指定管理委託料 172,678千円 PCB廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理委託料 14,490千円
減価償却費	建物 片山・北千里・南千里市民プール3か所 工作物 片山市民プール

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	55,834	52,929	48,630	△4,299
行政サービス活動支出	234,642	288,526	270,235	△18,291
行政サービス活動収支差額	△178,807	△235,596	△221,605	13,992
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	65,321	65,321
投資活動収支差額	-	-	△65,321	△65,321
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△178,807	△235,596	△286,926	△51,329
一般財源充当額	178,807	235,596	286,926	51,329
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	投資活動支出
	片山市民プール空調改修工事 26,786千円 北千里市民プールろ過設備改修工事 38,535千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成27年度	289,110人	914円	市民プール(2か所)の利用者1人あたり 1,123円のコストがかかっています。
	平成28年度	283,200人	1,123円	
	平成29年度	265,763人	1,123円	
開場1日あたりのコスト	平成27年度	501日	527,635円	市民プール(2か所)の1か所1日あたり、791,424円のコストがかかっています。
	平成28年度	377日	843,607円	
	平成29年度	377日	791,424円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	494	188	△306
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	494	188	△306
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	553,881	585,749	31,868	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	3,727	2,600	△1,128
建物・工作物	553,881	585,749	31,868	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	3,727	2,600	△1,128
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	4,222	2,788	△1,434
建物・工作物	-	-	-	純資産	549,659	582,961	33,302
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	0	0	0	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	資産の部合計	553,881	585,749	31,868
資産の部合計	553,881	585,749	31,868	負債及び純資産の部合計	553,881	585,749	31,868

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

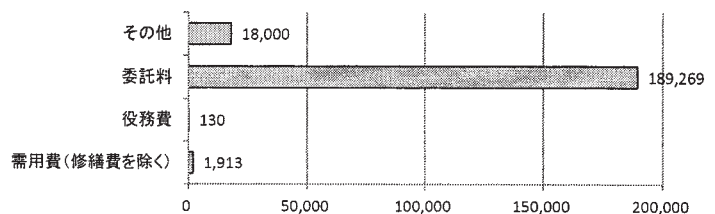
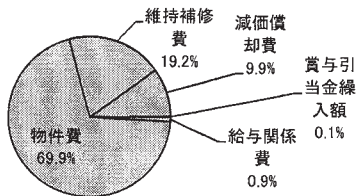
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	人	月平均	年間従事延日数	実人数	
事業従事人数	0.38	人				2,090
給与関係費等	2,090	千円				2,090
内、時間外勤務手当	0	千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	設備等改修による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立片山市民プールほか1か所
取得年月日	昭和37年(1962年)8月2日(供用開始)ほか
建物・工作物の取得価額	1,570,034 千円
建物・工作物の減価償却累計額	984,286 千円
利用料金収入	46,385 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	1.8	0.7	3.7	3.0
施設老朽化比率	62.8	64.7	62.7	△ 2.0
受益者負担比率	20.1	15.9	15.5	△ 0.4
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	76.2	81.7	85.5	3.8
経常費用対公共資産比率	16.9	20.3	19.0	△ 1.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

IV 総括

▽分析結果の説明

既存施設の老朽化が62.7%と2ポイント後退しました。  
コスト全体の69.9%を物件費が占め、そのうちの82.5%を指定管理委託料が占めています。また、減価償却費がコスト全体の9.9%を占めています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市民プール(片山,北千里)は、平成18年度(2006年度)から指定管理者制度を導入しています。  
市保有施設全体の老朽化率と比較して、62.7%と老朽化は進行しています。維持補修の実施だけでは施設の維持が難しくなっており、長期修繕計画のもと、機器の更新を含め計画的に進めていく必要があります。  
平成29年度は、片山市民プール空調設備改修工事、北千里市民プール50mプール過器取替工事を行いました。  
今後も備品更新・維持補修の財源確保も含め、計画的に維持補修を実施し、施設の長寿命化を図ることが必要です。